

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年8月28日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、1. (1) 第24回の原子力規制委員会が明日8月29日午前中に開催される予定となっております。議題は4件予定されております。

まず、議題1「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構平成29年度の業務の実績に関する評価について」。こちらは、毎年度行っております独立行政法人の業務実績評価に関する議題でございます。こちらの議題1では、原子力研究開発機構の平成29年度における業務実績評価について、委員会にお諮りをするというものでございます。

次に、議題2「国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構平成29年度の業務の実績に関する評価について」。こちらも同様に独立行政法人の実績評価に関するもので、量子科学技術研究開発機構の平成29年度の業務実績評価について、委員会にお諮りをするものでございます。

次に、議題3「平成29年度実施施策に係る政策評価書及び平成30年度実施施策に係る政策評価の事前分析表等について」。こちらも毎年行っている政策評価に関するプロセスでございます。平成29年度の実施施策に係る政策評価書及び平成30年度実施施策に係る事前分析表などにつきまして、委員会に審議をいただくというものでございます。委員会に決定をいただく予定でございます。

次に、議題4「原子力災害時の事前対策における参考レベルについて（第3回）」。こちらは、原子力災害時の事前対策に係る参考レベルについて、このテーマにつきまして、これまで7月11日及び18日の2回にわたって委員会において議論が行われてきたところでございます。これを踏まえて、引き続き議論を行うというものでございます。

次に、広報日程の1. (3) 第26回の原子力規制委員会の臨時会議、こちらが8月31日金曜日、今週金曜日の午前中に開催をされる予定でございます。こちらは審査会委員の選考に係る内容のため、非公開とさせていただきます。

議題といたしましては「原子炉安全専門審査会・核燃料安全専門審査会の審査委員の選考について」ということが議題となっております。来る11月で任期を迎える委員がお

られるということから、これに関連する委員の候補の選考について審議が行われるというものでございます。

なお、委員を正式に決定する際には、公開の委員会で審議が行われます。

次に、2ページ目、2ページ目については、既に前回のブリーフィングで御説明をしておりますが、念のため申し添えますと、中段にあります明日の定例の委員長による記者会見は、15時半からの予定となっております。

次に、広報日程の3ページ目でございます。

上段(6)、こちらは8月30日木曜日の日程でございます。第618回の審査会合が開催される予定でございます。審査対象の議題としては、現時点で3件予定をされてございます。

まず、1件目が、東北電力・女川発電所2号機に係る審査でございます。建築物の耐震検査などにつきまして、前回の会合に引き続いてコメント回答が行われる予定でございます。

次に、2件目といたしまして、九州電力・川内原子力発電所及び玄海原子力発電所の保安規定につきまして、こちらは火山灰対策に係る保安規定についての審査が予定されております。こちらも引き続いての審査ということで、コメント回答の予定でございます。

3件目といたしまして、四国電力・伊方原子力発電所の同じく火山灰対策に係る保安規定の審査が予定されております。こちらは初回の審査ということで、概要の説明をお聞きするという予定でございます。

次に、その下、8月31日金曜日、(7)第619回の審査会合についてでございます。こちらは議題として、北海道電力・泊原子力発電所の敷地の地質・地質構造についての審査が行われる予定でございます。敷地の地質・地質構造に関しまして審査を続けているところでございますが、今回は前回に引き続いての審査、コメント回答ということで、事業者においてデータを追加して説明があるというふうにお聞きしております。

次に、3ページ目下段、9月3日月曜日、(10)第8回の環境放射線モニタリング技術検討チーム会合が予定されております。こちらは議題として3件予定されております。

まず、議題1では、放射線個人線量計の測定サービス認定制度、こちらは測定サービスに関する品質保証のための制度でございますが、こちらの制度が開設をされたということでございますので、これについて、制度を実施しているJAB(日本適合性認定協会)から、その状況について御説明をお聞きするという予定でございます。

次に、議題2におきましては、放射能測定法シリーズNo.24の改訂についての議論が行われるということでございます。この測定法シリーズについて、順次改訂を行ってきております。今回はNo.24、記載してございます「緊急時におけるγ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」について、こちらの改訂の方向性について議論が行われるという予定でございます。

次に、議題3として「緊急時モニタリングについて(原子力災害対策指針補足参考資料)」

の解説の策定について、議論が行われる予定でございます。こちらの補足参考資料というのは、原子力災害対策指針の補足参考資料として、緊急時モニタリングの詳細な事項について取りまとめられているというものでございます。その補足参考資料にさらに技術的な面から補足をする解説資料をつけると、追加をするという方針がこちらの前回の技術検討チーム会合で決まったところございまして、今回はその新たに作る解説の記載の内容につきまして、そのポイントをお示しをし、議論をいただくという予定となっております。

次に、広報日程の4ページ目、こちらは、日にちといたしましては同じく9月3日月曜日でございます。(11)第21回検査制度の見直しに関するワーキンググループが午後に開催される予定でございます。こちらは、新たな検査制度の試運用が10月から開始をされる予定ということになっております。それに向けての準備ということで、まず、議題1におきまして、関連する文書類一式について、改めてお示しをして確認をし、議論をするという予定でございます。

その上で、議題2におきまして、新たな検査制度の試運用についてということで、試運用を実際に進めていく基本的な方針について、確認を行うということが予定されております。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。御質問はございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—